

洪水ハザード情報について

H27年の水防法改正に基づき、最上川・大旦川・富並川で浸水域の公表がありました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

説明

- この「マップ」で使用しているハザード情報は、最上川・大旦川・富並川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。

想定した雨量の規模
(最上川流域の総雨量)

河川名	雨量
最上川 大旦川 富並川	295mm(2日間)

最上川・大旦川・富並川の改正後の目安

5.0m以上の区域	——
3.0m～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0～0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度



洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。
1時間に雨量が30mm以上

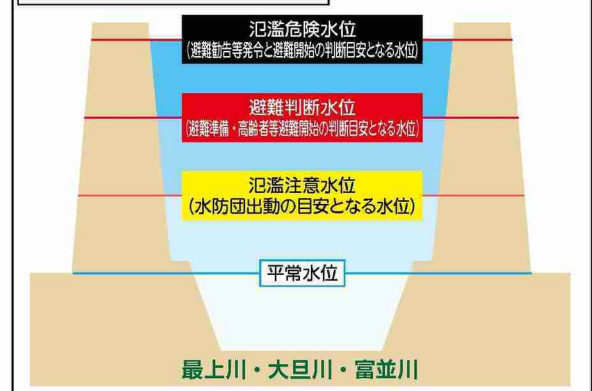
洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。
1時間に雨量が50mm以上

指定河川洪水予報など

- 最上川については、山形地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する山形河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。
大旦川・富並川については、水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき山形県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

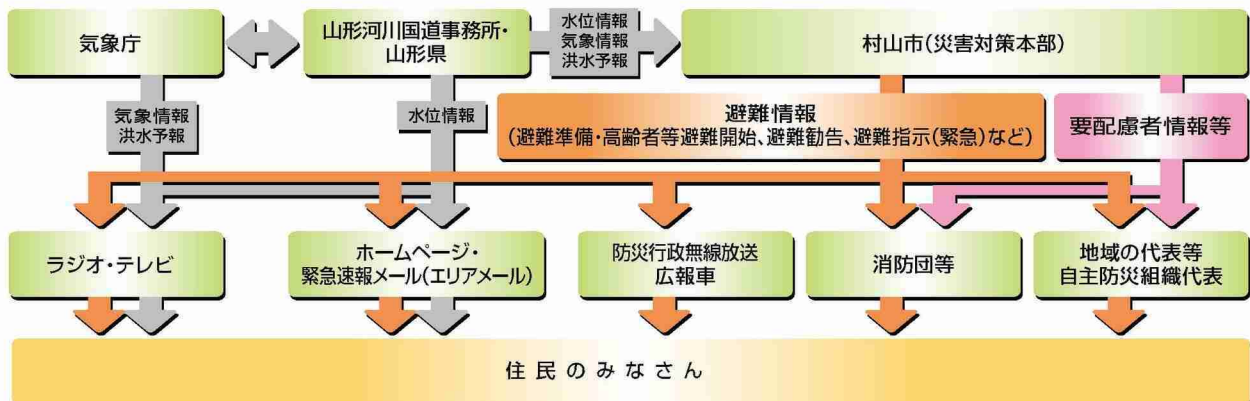
水位にともなう判断基準イメージ



※基準水位や現況水位は、「山形県河川・砂防情報システム」で確認できます。
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/bousai/>

洪水情報の伝達ルート(土砂災害情報も同じ)

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



避難情報の伝達ルートがオレンジ色になります。

情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。